



2025 年 6 月 27 日
飯野海運株式会社

2024 年度の投資家との対話実績

当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との対話が重要であると認識しています。対話で得られた株主の意見や関心事項は定期的に取り締役会へ報告しています。また、当社グループの企業価値向上に向けた取組みをご理解いただくため開示の充実を継続して行っています。

個別面談の実施

- ・ 主な対応者
代表取締役社長／社外取締役／SR 広報部担当執行役員／SR 広報部長

- ・ 実施件数（国内・海外別）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
国内	29	29	35
海外	13	21	19
合計	42 ※うち、代表取締役社長は 6 件に参加、 社外取締役は 9 件に同席	50 ※うち、代表取締役社長は 21 件に参加、 社外取締役は 9 件に同席	54 ※うち、代表取締役社長は 20 件に参加、 社外取締役は 8 件に同席

決算説明会の開催（オンライン）

	開催時期	当社対応者	参加投資家・アナリスト数	英語
期末決算説明会	2025 年 5 月	代表取締役社長 他	11 名	説明会後に動画配信
中間決算説明会	2024 年 11 月	代表取締役社長 他	14 名	説明会後に動画配信

※いずれも決算発表日の翌営業日に開催

対話の主なテーマおよび株主の関心事項

経営戦略・事業	・ 海運業について -当社グループの主力事業であるケミカルタンカーに関する一般的な質問 -海運市況の実績および見通し -契約形態 -外部環境（為替や世界情勢等）が業績に与える影響 ・ 不動産業について
---------	---

	-保有オフィスビルの空室率、契約状況 -今後の国内外の不動産投資への考え方 ・ 中期経営計画の進捗や事業ポートフォリオ戦略の詳細
財務戦略	・ キャッシュ・アロケーションについて ・ 自己株式取得を含む株主還元策の考え方
ガバナンス	・ 買収防衛策の導入意義 ・ 政策保有株式の縮減方針 ・ 役員報酬制度
環境・社会	・ 環境（カーボンニュートラル達成への取組み、外部規制の影響） ・ 社会（エンゲージメントサーベイなどの人的資本の取組み）
その他	・ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（毎年公表）

経営陣へのフィードバックの実施状況

	頻度	報告方法
投資家との面談における質疑応答の内容	都度	メール
投資家との面談における質疑応答の内容（抜粋）	年 4 回	取締役会
決算説明会の参加者からのコメント	年 2 回	取締役会

対話を踏まえた取組み

情報開示の 充実	・「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の開示内容の充実化 ・ 決算補足資料の内容充実化 -ケミカルタンカーと大型ガス（LPG）船の市況前提 -ケミカルタンカースポット運賃インデックスチャート -投資進捗 など
	・ 当社 HP のリニューアルを実施
その他取組み	・ 従来の役員報酬制度に①CDP スコアに基づく業績連動報酬、②重大事故発生の有無を考慮した賞与を導入
	・ 特別配当の実施、配当性向の変更を決定

（参考）

ディスクロージャー・ポリシー（[リンク](#)）

2022 年度の投資家との対話実績（[リンク](#)）、2023 年度の投資家との対話実績（[リンク](#)）

中期経営計画（FY2023～FY2025）「The Adventure to Our Sustainable Future」（[リンク](#)）

以上